

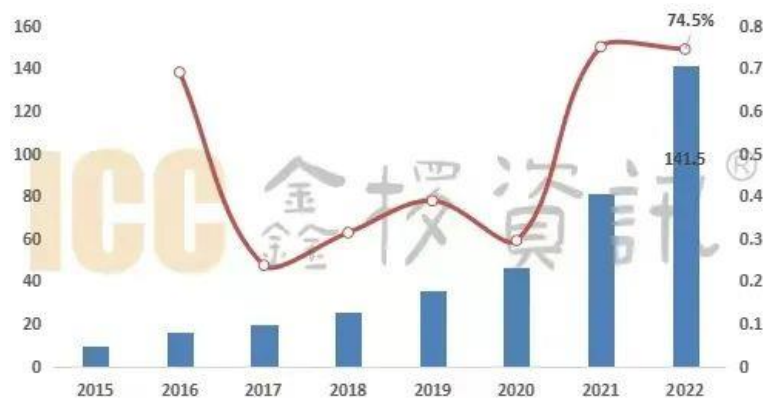
# CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301  
TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

## 2022 年 中国負極材の市場動向

ICC 資訊によると、2022 年中国のリチウム電池用負極材生産量は 141.5 万トンで、前年より 74.5%増加した。負極材市場は引き続き高い成長率を維持した。

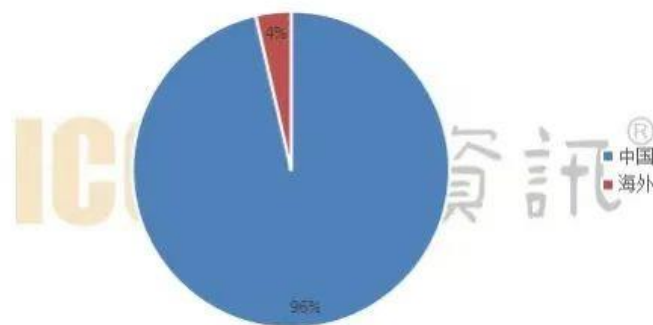
(万トン)



出典：ICC 資訊

図 1 中国の負極材生産量 (2015-2022 年)

2022 年の世界負極材料生産量は 146.8 万トンで、前年より 67.3%増加した。中国負極材の世界市場シェアが 2021 年の 92%から 96%に上昇した。



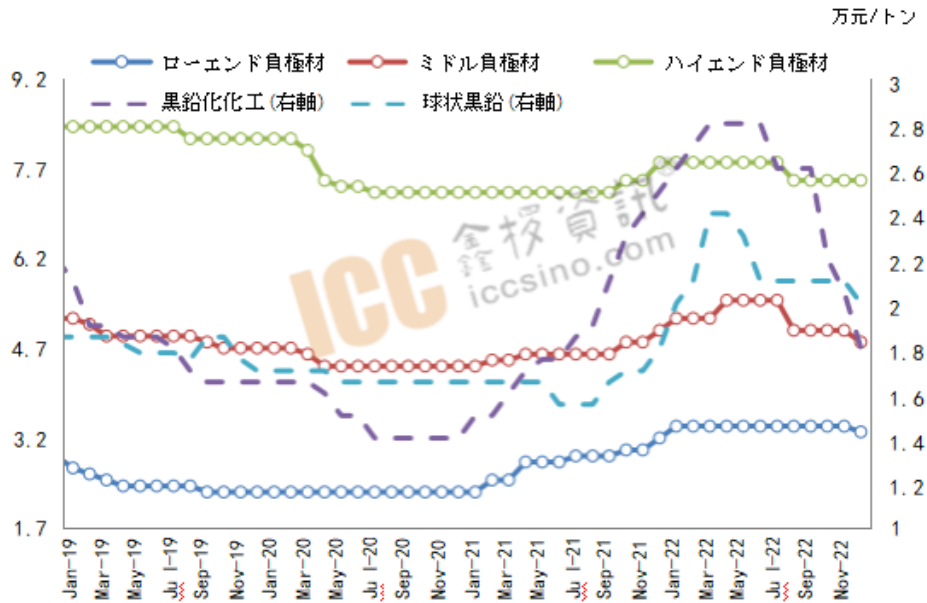
出典：ICC 資訊

図 2 中国リチウム電池用負極材の市場占有率 (2022 年)

2022 年、供給不足が深刻だった中国リチウム電池用負極材は供給が需要を上回った。価格は供給状況に従って上半期の高値から徐々に下がった。主な原因は原料の値下がりや黒鉛化加工能力の急速な増加による大幅な価格低下である。

# CMI 株式会社

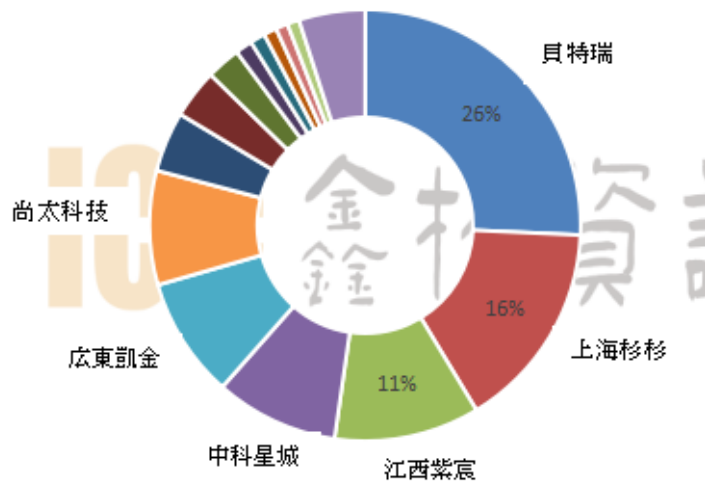
横浜市鶴見区東寺尾中台20〜3,301  
 TEL: 045〜717〜8575 FAX: 045〜717〜8683



出典：ICC 資訊

図3 負極材と黒鉛化加工の価格推移 (2019年1月-2022年11月)

生産企業を見ると、深せん（深圳市）貝特瑞新能源材料股份有限公司の市場シェアは10年連続で1位を維持した。上海杉杉科技有限公司は人造黒鉛生産量でトップを占めた。河北坤天新能源科技有限公司、広東東島新能源股份有限公司、四川金滙能新材料股份有限公司、青島科碩新材料科技有限公司、水富中晟能源有限責任公司などの新興企業も実績を上げた。



出典：ICC 資訊

図4 負極材企業の市場占有率 (2022年)

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

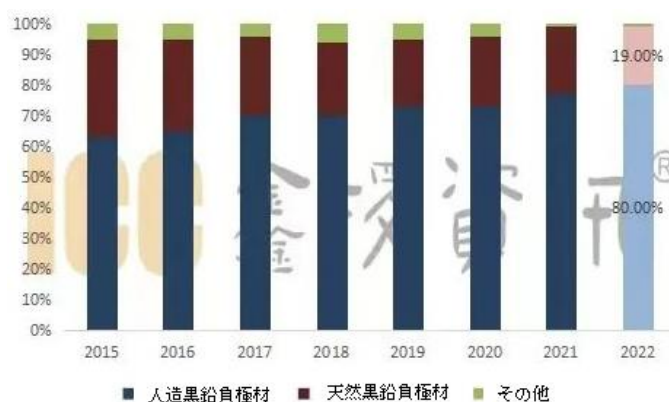
TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

表 1 生産量別の中国負極材企業 (2022 年)

| 2022 年生産量 | 会社名               |
|-----------|-------------------|
| > 10 万トン  | 深圳市貝特瑞新能源材料股份有限公司 |
|           | 上海杉杉科技有限公司        |
|           | 江西紫宸科技有限公司        |
|           | 湖南中科星城石墨有限公司      |
|           | 広東凱金新能源科技股份有限公司   |
|           | 石家荘尚太科技股份有限公司     |
| > 3 万トン   | 深圳市翔豊華科技股份有限公司    |
|           | 広東東島新能源股份有限公司     |
|           | 河北坤天新能源科技有限公司     |
| > 1 万トン   | 青島科碩新材料科技有限公司     |
|           | 四川金滙能新材料股份有限公司    |
|           | 深圳市斯諾実業発展有限公司     |
|           | 青島泰東瑞新能源材料有限公司    |
|           | 内蒙古欣源石墨烯科技股份有限公司  |
|           | 水富中晟能源有限責任公司      |
|           | 江西正拓新能源科技股份有限公司   |
|           | 内蒙古三信実業有限公司       |

出典：ICC 資訊

2022 年、負極材に占める人造黒鉛の割合が上昇して約 80%になった。2021 年から大手電池メーカーが動力電池の製造に天然黒鉛負極材を利用するようになり、2022 年に「人造+天然黒鉛」の複合製造方案を導入する企業が更に拡大したものの、天然黒鉛の消費量実績はまだ少なかった。また、天然黒鉛の一時的な需給逼迫を考慮しているため、天然黒鉛負極材の短期間での急速成長の可能性は低いと見込まれる。



出典：ICC 資訊

図 5 原料別負極材生産量の比率 (2015-2022 年)

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301  
TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

---

ICC 資訊によると、2022 年までに国内で発表された負極材生産能力は累計で 1,000 万トンを超えた。

2023 年の負極材産業は激しい競争が予測されている。

- 激しい競争のため負極材企業の利益が下がる。
- 深圳貝特瑞、上海杉杉の大幅な生産拡大によりシリコン系負極材の生産量が爆発的成長を迎える。
- コストダウンが重要な課題となる。企業の競争力維持のため、プロセスの最適化、連続式黒鉛化など新技術の導入によるコスト削減が重要になる。
- グローバル戦略及び海外市場の開拓が重要である。

情報源：ICC 資訊より。